



## ⑥ 第46回乳牛総合共進会

### 1 番牧草収穫



⑥ 28 上標津で



⑥ 28 計根別で



# 林さん初のグランドチャンピオン

## ジュニアは星野さん、北村さんが4クラスでV

### 第四十六回 乳牛総合共進会

乳牛の体型の美しさを競う、第四十六回JA計根別乳牛共進会を六月六日、農協共進会場で開きました。

開会式で纏織組合長は、「多くの出品を頂き、出品者皆さんの乳牛改良への熱意に頭が下がる思い。今後この勢いを継続して計根別酪農の発展につなげてほしい」とあいさつしました。

十一部門に百九頭が出品され、家畜改良事業団十勝種雄牛センターの福屋茂生氏が審査。各部門の一・二位牛によるチャンピオン決定戦ではジュニアグランドチャンピオンに星野淳さん出品の「スターフィールド ヒンペル ピーナス ルファイ」(3部1等1席)が、シニアグランドチャンピオンには林満治さん出品の「フオレスト カスミビュー I ストーマチックET」(10部1等1席)が選ばれました。

また、同会場では和牛生産振興会主催による第四回和牛共進会も開かれ、二十三頭が出品されました。



フオレスト カスミビュー ストーマチック ET  
父：ストーマチック 林 満治

シニアチャンピオン  
(10部1等1席)



スターフィールド ヒンペル ピーナス ルファイ  
父：ダーハム 星野 淳

ジュニアチャンピオン  
(3部1等1席)



メモリー マリオ ストリートET  
父：ストーマチック 北村 篤

シニアリザーブチャンピオン  
(9部1等1席)

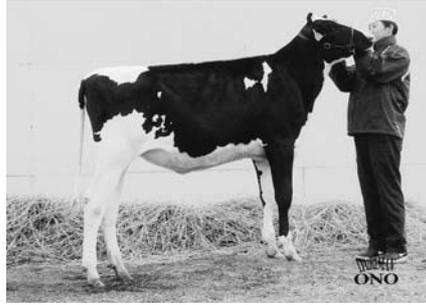


HEF ハート プリジェース  
父：ジエスロ ハイエストファーム

ジュニアリザーブチャンピオン  
(5部1等1席)



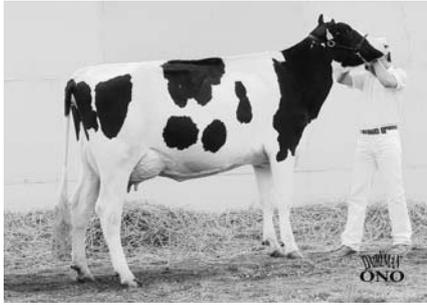
第4部  
メモリー レークハースト モーフレツド  
父：モーティ 北村 篤



第2部  
サンハイ アイデアス ウインチエス ブレイク  
父：ゴールドウイン サンハイファーム



第1部  
HEF マツク オルカーン  
父：ジヨーダン ハイエストファーム



第8部  
メモリー レクサス ヘザー セブ  
父：S.ストーム 北村 篤



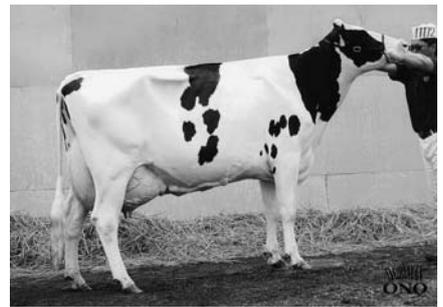
第7部  
メモリー ジャーランチエ エル  
父：ダーハム 北村 篤



第6部  
ゴールドクレスト トリプルリー ジェスロ リーン  
父：ジェスロ 高橋顕吾

各部の上位入賞

部	序列	名	号	出品者
1部	1	HEF マツク オルカーン		ハイエストファーム
	2	ノーズヒル プリッツ チャーリー		佐藤 広光
	3	メルテイリツジ セリナ ルーエラ		本田 正志
2部	1	サンハイ アイデアス ウインチエス ブレイク		サンハイファーム
	2	メルテイリツジ ゴールドウイン トミー		本田 正志
	3	ヒルタビュー パステル ショルダー		蛭田 健太郎
3部	1	スターフィールド ヒンベル ビーナス ルフィ		星野 淳
	2	メモリー マリオ S コレクション		北村 篤
	3	フォレスト セニヨリータ ロイ		林 満治
4部	1	メモリー レークハースト モーフレツド		北村 篤
	2	HEF マツク プレツツエル ET		ハイエストファーム
	3	ラッキーファーム デビュー ジョーダン アラン フタゴ		漆原 俊之
5部	1	HEF ハート プリジエース		ハイエストファーム
	2	フォレスト エルトンダー ストーム		林 満治
	3	ラッキーファーム アデダス チャンピオン レイダー		漆原 俊之
6部	1	ゴールドクレスト トリプルリー ジェスロ リーン		高橋 顕吾
	2	ガバネス メロディー ストーム		影山ファーム
	3	SSF SD ダンディー		須崎 智裕
7部	1	メモリー ジャーランチエ エル		北村 篤
	2	メルテイリツジ ヘルパス チャンプ ミッキー フタゴ		本田 正志
	3	ノーズヒル スリースリー ジャーナリー		佐藤 広光
8部	1	メモリー レクサス ヘザー セブ		北村 篤
	2	サンハイ コピア ダーハム クリス		サンハイファーム
9部	1	メモリー マリオ ストリート ET		北村 篤
	2	スターフィールド ヒンベル テイファニー カレン		星野 淳
	3	ブルームーン アーリー ポストン		永利 嘉成
10部	1	フォレスト カスミビュー ストーマチック ET		林 満治
	2	フォレスト セシリア ジョーダン		林 満治
11部	1	スターフィールド ヒンベル クオリス ブルー		星野 淳
	2	メルテイリツジ ロジャー ルンド		本田 正志



第11部  
スターフィールド ヒンベル クオリス ブルー  
父：アウトサイド 星野 淳



デーリークイーンの  
佐藤愛里さん



リードマンでも大活躍の北村おありさん

台頭してきたヤングパワー



農高出品牛をリードする水口昌美さん

リード“ウーマン”も  
増えました



1部1席の二瓶瑞江さん  
(ハイエストファーム)



6部の影山洋平さん(影山ファーム)



10部では夫婦で首位争いの林理恵子さん

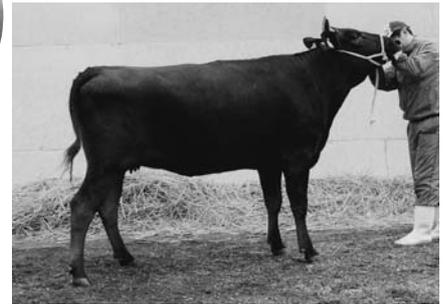


3部の百崎一希さん(左)と本田拓也さん

第4回 和牛共進会



ジュニアチャンピオンに輝いたルフィ号と  
星野輝子さんとリードマンの須崎さん



第4部  
繁殖素牛経産の部1位  
ふみ 父：安平 漆原 功

第4回和牛共進会の成績

上館伸幸 審査員(根室農業改良普及センター・主任普及指導員)

部	序列	名号	父	母	祖父・曾祖父	出品者
1部 去勢	1	茂金勝	重勝栄	よしふく	金幸・平茂勝	小田正美
	2	安国622	安茂勝	いとくにこ	北国7の8・賢深	佐藤勝夫
	3	勝平	平茂勝	ひらり	紋次郎・景藤	佐久間孝市
2部 若雌~12ヶ月	1	ひろこ	平茂勝	はまこ	金幸・神高福	漆原功
	2	さかなな	安茂勝	かねなな	金鶴・北国7の8	坂地定義
	3	かれん	百合茂	ふみ	安平・隆桜	漆原功
3部 若雌12ヶ月~	1	いとひめ	平茂勝	いとしず	糸晴波・美津福	二瓶裕貴
	2	くらら	平茂勝	ひらり	紋次郎・景藤	中標津農高
	3	いとべにこ	茂重波	いとふじ8	第7系桜・大雄	高橋欣司
4部 繁殖素経産	1	ふみ	安平	いとひめ	隆桜・系秀	漆原功
	2	よしふく	金幸	よしこ	平茂勝・神高福	小田正美
	3	たかみ	北国7の8	たかいち	賢深・系光	宇賀神道夫

## 第25回 本別地区乳牛共進会

5月30日開催 46頭出品  
菊池正明 審査員 (ジェネティクス北海道道東事業所)

シニアグランドチャンピオン  
 フォレスト セシリア ジョーダン (林 満治) 2連覇達成  
 ジュニアグランドチャンピオン  
 メモリー マリオ S コレクション (北村 篤)  
 シニアリザーブチャンピオン  
 メモリー レクサス ヘザー セブ (北村 篤)  
 ジュニアリザーブチャンピオン  
 フォレスト セニョリータ ロイ (林 満治)



2連覇を果たしたセシリア  
ジョーダン号



ジュニアチャンピオンの  
Sコレクション号

## 第62回 養老牛地区乳牛品評会

6月2日開催 25頭出品 (ジュニアクラスのみ)  
佐々木 完 審査員 (農協酪農課)

グランドチャンピオン  
 サンハイ アイデアス ウインチエス ブレイク  
 (サンハイファーム)  
 リザーブチャンピオン  
 サンハイ スーパー ブリュワー ベイブ  
 (サンハイファーム)



養老牛地区の審査風景

## 第7回 東部地区乳牛共進会

6月3日開催 33頭出品 (ジュニアクラスのみ)  
小林英聡 審査員 (ジェネティクス北海道道東事業所)

グランドチャンピオン  
 メルテイリツジ ゴールドウイン トミー  
 (本田正志)  
 リザーブチャンピオン  
 スターフィールド ヒンペル ビーナス  
 (星野 淳)



星野  
グランドチャンピオンの  
ゴールドウイン  
トミー号

# ネオスポラ症を学ぶ

東部地区同志会講習会

東部地区同志会 (漆原俊之会長)

は六月十日、乳牛の疾病 (ネオスポラ症) と繁殖管理を学ぶ講習会を計根別青年会館で開き、会員など十二名が参加しました。

講習では、NOSA I 計根別診療所の佐久間獣医師と梅沢獣医師が「ネオスポラ症イコール流産とは言えないが、流産したら疑いが持たれる」と説明。会員からは「予防法は? 本牛を淘汰したほうが良いか?」との質問に

「予防法として、飼い犬をつなぐ。キツネを出入りさせない。感染牛は生後2ヶ月までに神経症状や成長不良を呈することから、淘汰対象としたほうが良い」との助言がありました。

また、繁殖管理の講義では担当授精師が「生産者のための牛の繁殖管理マニュアル」を使って基本技術を説明する。 「微弱発情が多くなってきた。現在の授精適期は?」との質問には「発情徴候があった時点での授精も一考では」とのアドバイスもありました。

参加者はそれぞれの自宅の現状について、活発な意見交換をするなど、相互の技術向上にもつながりました。



# THE FRIEND CONNECTION

岡部 勝次(計根別支部)  
S48.10.13生 34歳

- Q1. あなたの趣味は？  
A1. なんでも！いろいろありすぎ！  
Q2. あなたの得意技は何ですか？  
A2. 機械修理  
Q3. 好みの男性は？  
A3. 須永昌和さん(笑)  
Q4. 将来の目標は？  
A4. 雑草のような逞しい人間になる！  
Q5. あなたの夢は何ですか？  
A5. 岡部財閥の確立  
Q6. 友達を紹介してください  
A6. 二瓶裕貴くんです。  
Q7. なぜ二瓶くんを選んだのですか？  
A7. 社長(!?)だからです(笑)



PS:写真のバイク売ります！  
HONDA CB50 赤 10～15万円(応談)

## “農家の仕事って 楽しいね”

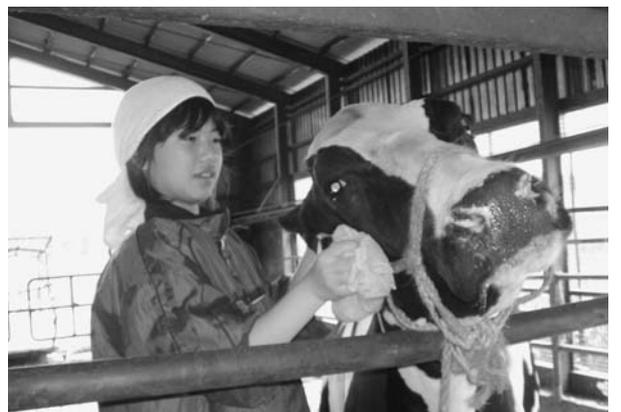
### 計根中生徒の 酪農体験実習を受入れ



真剣な眼差しの晃樹君

なつみさんは「喉を撫でたら首を伸ばして気持ち良さそうだった。牛って可愛いね」と話し、晃樹君は後日に搾乳の手伝いも体験したそうです。お昼には焼肉をご馳走になり、二人の短い実習は終了しました。本当にご苦労様でした。

計根別中学校の企業体験実習が六月二十日に行われました。本年度は生徒の希望もあり、酪農家での実習も行なわれ、工藤晃樹君と喜來なつみさん(いずれも一年生)の二名が、当青年部の久保拓伸君の農場で実習しました。一日だけの短い日程ではありませんでしたが、牛を洗ったり牛舎の清掃を行ったりと、日常作業の一部を体験しました。



お顔をゴシゴシ！なつみさん

青年部  
標語

家族サービス、行楽シーズン！  
後部座席シートベルト着用！  
安全運転を心掛けましょう！

「交通事故撲滅に向け、各地区一斉に交差点の草刈りを実施！」

“地域貢献と交通安全”を今年度の大きな取り組みに掲げる当青年部は六月九日、交通事故を少しでも減らすべく「青年活動の日」として、各支部一斉に交差点周辺の草刈りを行いました。

活動は、各支部が事前に「地域内で交通量が多く、危険だと思ふ交差点」を選定し、その見通しを良くして事故防止につなげようというもの。

部員はそれぞれの自宅から刈払い機や竹ボウキを持ち寄り、額に汗しながら作業を行いました。

大成と計根別の両支部ではチェーンソーで立ち木を伐採して見通しを良くするなど、心からの交通事故撲滅を祈願した活動となりました。



上標津支部 本村さん前交差点



計根別支部 52線北10号交差点



養老牛支部 52線北20号交差点



西竹支部 桑川さん前交差点



大成支部 伊藤養鶏場前交差点



本別支部 本別会館前交差点

漆原 陸君が道内唯一の入選

# いのちと献血 俳句コンテスト

計根別小学校三年の漆原 陸君（八歳）はこのほど、第二回いのちと献血俳句コンテスト（日本赤十字社主催）の低学年の部で入選。七月一日に中標津町役場で清原哲雄副町長から賞状を伝達されました。

入選作品は「はるやすみとらくたあで けんけつへ」。

同コンテストは献血に関心を持ってもらおうと、全国から募集し、同小学校で

は二年（昨年度）の授業で取り組んだもの。小学生四万三千五百人から応募があり、低学年は全国で三十三件が選ばれ、道内からは唯一入選しました。

陸君は授業で十ほどの句を考え応募したとのこと。「トラクターが大好き。大人になったら献血に協力したい」と話してくれました（北海道新聞の記事を参考としました）



賞状が濡れないように大事そうに掲げる陸君

## 働くことはなかなか大変！

### 計根別中の生徒が生活店舗などで体験学習

計根別中の一年生六人が六月二十日に当農協のイーコープ店と給油所、上標津の久保伸一牧場で職場体験学習を行いました。

この学習は同校の「総合的な学習」の一環として実施。各自が興味ある職業について事前調査し、実際の体験を通してマナーや働く目的や意義を学び、将来に生かしていこうというもの。一年生は計根別地区、二年生は中標津地区で行なわれます。

当日は、イーコープ店で株田智章君と影山佳奈子さんが品出しやレジコーナーでの袋詰めを、給油所では町田将也君と飯塚咲希さんが車の窓拭きなどを行ないました。また、工藤晃樹君と喜来なつみさんは久保牧場で牛の世話を手伝いました。

飯塚さんは「楽しくて時間が経つのが早かったけれど、仕事の大変さがわかりました」と充実した表情で話してくれました。

酪農体験については「青年部瓦版」に掲載しています。



飲料売り場で商品を並べながら「働くことの大変さがわかりました」と話す株田君



「仕事は楽しいけど緊張します」と商品を袋詰めする影山さん



ワイパーの汚れを取りながら「働くことはすごく大変です」と話す町田君



「楽しくて時間が経つのが早かったけど大変さがわかりました」と車の窓を拭く飯塚さん

# 酪農体験を今後の仕事に活かすために...

## 農協の新人職員も農家実習



「酪農家は毎日休みなく仕事を続けていることがすごい!と思います」と哺乳準備をする渡辺おり絵係(須崎智牧場で)

本年度の新採用職員七人は、今月初めにそれぞれ一週間にわたり組合員さん宅で酪農実習を行いました。

酪農家の仕事と生活を知って、今後の仕事に活かしていこうと、第一班が六月三十日、七月六日に須崎智さん、高橋顕吾さん、穴戸浩一さん宅で実施。第二班が七月七日、十三日まで西塚秀夫さん、倉田勇さん、ケネカランドさん、相澤温さん宅で実習しました。

今年度の職員も農家以外からの出身者が多いことから、この実習を通して得たものは大きかったことと思います。

受け入れ農家の皆さん、大変お世話になりました。



「酪農家は仕事が多く大変さがわかりました。今後も組合員さんに協力していきたいです」と乳検作業を手伝う高橋久美子係(西塚牧場で)



「分娩時の子牛の死亡に立ち会って、生き物を扱う難しさを知りました」とエサ押し作業中の北川未来係(高橋顕吾牧場で)



「分娩を見てビックリ!そして感動しました。農家の大変さも分かり、今後に役立てたいです」と乳房清拭中の羽田依世係(倉田牧場で)



「酪農家のことは知ってるようで知らないことが多く、この経験を今後の仕事に活かして行きたいです」と牛舎清掃を行なう佐藤愛里係(穴戸浩一牧場で)



「(実家とは違い)大規模で管理体制も良く勉強になりました」と搾乳作業中の吉田和広係(ケネカランドで)



「牛の観察法などに感心しました。このお宅の繁殖成績良好の理由を裏から見られた感じです」と乾草を分ける片岡美幸係(相澤温牧場で)

# パークゴルフと温泉で 体もリフレッシュ

女性部緑会  
健康研修会



カップを狙う佐藤昭子さん。周りのみんなも見守ります

六月七日、西春別パークゴルフ場で緑会の健康研修会を行い会員六名が参加。パークゴルフと温泉を楽しみました。

当日は朝から曇でしたが、プレイを始めた頃から次第に晴れ、気分も上々に。ボールがなかなか自分の思った方向に行かず苦労してる人や、上手く狙う人などさまざまでした。



1打目、どこまで飛ばすか勝負！

自分の打つ番が回ってくる間には「外に出て体を動かして汗を掻くと気持ちいいね」などの声も聞こえてきました。

結果は、一位は田中繁子さん、二位は小林誉子さん、三位には佐藤昭子さん、と西崎美智枝さんでした。

沢山の汗を掻いた後は西春別クローバーハウスでゆっくり温泉に浸かり、食事を取りながらパークゴルフの感想などを話すなど、その日の疲れを癒していました。

## 農協は誰のもの？

### ステップアップ講座から

#### 一、協同組合の誕生

経済的弱者である労働者階級が、力を合わせて資本者階級に対抗するために組織しました。

イギリスで：

ロッヂデール公正先駆者組合

【ロバート・オーウェン（協同組合の父）の思想が生かされた労働者の生活協同組合】

「ロッヂデール原則」は現在の協同組合原則の基礎。

ドイツで：

高利貸に対抗するための信用組合が発展

「一人は万人のために、万人は一人のために」（ライフアイゼンによる思想）

日本で：

二宮尊徳の「報徳社」＝農民の積立による相互救済的金融

#### 二、協同組合の理念

定義

協同組合は人々が自主的に結びつけた自立の組織です。また、組合員が協同で所有し民主的に管理する事業体を通じて組合員共通の経済的・社会的・文化的なニーズ

を満たす組織です。

価値

協同組合が大切にしてきた基本理念として自助・自己責任・民主主義・平等・公正・連帯があげられ、倫理的価値観として正直・公開・社会的責任・他者への配慮があげられます。

#### 三、JAと日本の農協の特色

農業協同組合＝農協

愛称「JA」（平成四年）

Japan（ジャパン）日本

Agricultural

（アグリカルチャラル＝農業の）

Cooperatives

（コオペレイティブス＝協同組合）

農協は組合員さんのものです。

愛称は「JA」ではなく正確

には「J

AC」か

も知れま

せんね！



第2回講習会で平野講師（JA中央会）

# 太田麗史君、意見発表全道大会へ

## 農業クラブ東北北海道大会で優秀賞



農高から出場の水口さん、佐藤さんと共に（左から）

り方について考えてみようというもの。太田君は、「誰もが使う割り箸。一人でも多くの人

が環境について考えてもらおうきっかけにしてもらえるよう、聴く人に訴えていきたい」と全道大会への意気込みを語っています。

環境部門で発表。八題中の二位となり優秀賞に輝きました。テーマは「割り箸から世界を見て環境を考える」。内容は、元々間伐材を原料とする割り箸だが、近年では低コストの輸入材に押され、国内では間伐されずに放置される森林が増加。一方で海外の過剰伐採で、現地での洪水被害が絶えない。間伐は木の成長を促し森林を活性化することから、環境保全につながる。現在無償で提供されている割り箸の有料化等も検討するなど、割り箸のあり方について考えてみようというもの。

中標津農高の太田麗史君（二年、養老牛）は六月二十四日、帯広市で開かれた第三十八回東北北海道農業クラブ連盟意見発表大会で優秀賞を受賞。八月に富良野市で開かれる全道大会に出場することになりました。



優秀賞を授与される太田君

## 明るい笑顔で接客

### 清水さん（3年）職場体験



六月十日（二十日）にかけて、三年生の清水ちひろさんが当農協のAコープと給油所で職場体験。持ち前の明るさで接客し、テキパキと仕事をこなしました。

五月に開校した今年度の「計根別食育学校」。六月十三日には計根別小の四年生十四人が、マネージメント分会の二年生の指導でカボチャ、トウモロコシ、ジャガイモの定植とニンジンの直播きを行ないました。カボチャとトウモロコシは開校時に播種し、温室で育ててきたもの。



温室から圃場までみんなで運搬

小学生は今後

## 計根別食育学校

も除草や間引きなどを行ないながら、観察を続けていきます。

また、「食育」の一環として酪農体験も受け入れる同校。六月十一日には中標津市街の親子三人を受け入れし、搾乳や牛の世話などを教えました。



酪農体験、初めての搾乳体験です



農協職員も受講しています



トウモロコシの定植で



牛の調教でニコリ

# 今からできる暑熱ストレス軽減と発情発見の工夫

いよいよ夏本番です。今年の乳牛における暑熱ストレスはすでに6月から始まっていたように思われます。暑い日（気温が25度近くの日）には明らかに牛の呼吸が多くなっていましたし、農場によっては若干乳量の低下も見られました。搾乳牛の生理から、環境温度が24度以上になると採食量にも影響を及ぼすことがわかっています。

今年も暑熱ストレス軽減策を打ち、しっかり発情をみつきたいものです。

## （1）今からできる夏対策

### 【換気】

牛舎内の換気を徹底的に行う。  
日差しが直接牛体に当たらないよう日よけ・逃げ場を作る。

### 【飲水】

いつでも新鮮な水を十分に飲める環境を作る  
夏場だけでも臨時水槽は有効です。（写真1）  
水槽の掃除・水量の確保。



（写真1）FSで夏季に増設された水槽。

### 【飼料給与】

飼料給与回数を増やす。比較的気温が低いときに給与するのが効果的。  
粗飼料は嗜好性が良く、高品質で消化性の良いものをあたえ採食量低下をおさえます。

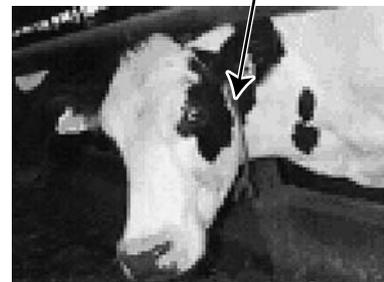
## （2）発情発見する現場工夫例

発情観察は毎日の大切な仕事とはいえ、暑くなってくると人間も集中力が欠けてきます。ここではお金をかけずに発情発見を効率よく行っている事例を一部紹介します。

### 【観察時間の効率化】

観察しなくてはいけない牛（空胎牛）に目印をして観察する牛を絞り込む。（写真2）  
発情が来そうな牛を事前チェック。  
若牛で牛群全体が寝ている時間帯に歩き回る牛は発情の可能性があるので、朝5～6時頃に1回見回る。

（写真2）分娩後カラーヒモを首にかけ空胎の目印にする。  
（未授精牛だけをチェックするため、妊娠鑑で受胎を確認したらヒモははずす。）



### 【記録・対応の後回し防止対策】

タイヤショベルに双眼鏡を置いて、仕事に発情をみつけたらすぐ耳標を確認。  
メモ・サインペンの用意 搾乳中は長靴にも書く。  
携帯電話に発情牛番号をメモする習慣をつける。  
自分が作業中の場合、近くにいる人にとりあえず伝える。

### 【発情発見そのものを楽しむ】

掲示板の活用と発見者の記入。  
従業員が発情を間違っても報告しても怒らない。（担当者の育成）  
たくさん目で見ると。家族・訪問者も発見者の一人として活用。

.....平成20年.....

# 夏の交通安全運動

7月22日(火)～7月31日(木) 北海道実施要綱

## 年間スローガン

ストップ・ザ・交通事故死 ～めざせ 安全で安心な車社会 北海道～

### 運動の目的

交通安全を自らのことと捉え、交通ルールの遵守や思いやりのある交通マナーの実践が主体的に行われるよう、道民一人ひとりの交通安全意識の高揚を図る。

### 運動の進め方

5大キャンペーンを軸に、関係機関・団体等が緊密に連携し、全道民が一丸となって効果的に展開する。

#### 5大キャンペーン

- 交差点の事故防止
- 高齢者事故防止
- 飲酒運転根絶
- シートベルト着用
- スピードダウン



### 期間中に実施する取組

セーフティコール7月22日(火)～全道統一行動日

- 子どもの交通安全指導
- 高齢者の交通安全指導
- シートベルト・チャイルドシート着用指導
- バドライト作戦
- 二輪車事故防止指導
- 自転車利用者等に対する交通安全指導

### 運動の重点

- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 自転車利用者等に対する交通安全指導
- 二輪車の交通事故防止
- 後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

### 通年展開

- 夜光反射材普及運動
- デイ・ライト運動
- 道民交通安全の日 (毎月15日)
- 自転車安全利用の促進





**蛭田 健太郎さん  
幸子さん  
6月14日挙式**

青年部活動や乳牛改良同志会活動を活発に行い、お酒を飲むのが大好きな健太郎くん。ミニバレーが得意でしっかり者の幸子さん。

二人の出会いは“花火大会”。2年半の交際を経て、二人で歩み酪農を担っていくことを決めました。

「おじいちゃん、おばあちゃんになっても手をつないで歩ける夫婦でいたい」と話す幸子さん。これからも末永くお幸せに。

**神内 正成さん  
敬枝さん  
6月1日挙式**

野球と肉が大好きで目が魅力的？なAコープで働く正成君。一方、明るく誰からも好かれ、笑顔が素敵な敬枝さんは当JAで3月まで奉職。二人は秘かに愛を育み6月1日、めでたく結婚しました。

「野球チームが出来るような大家族を目指す！」と正成君。敬枝さんは「笑顔が絶えない家庭を築きます」と話します。これからも二人仲良く、農協や地域のために頑張ってください。



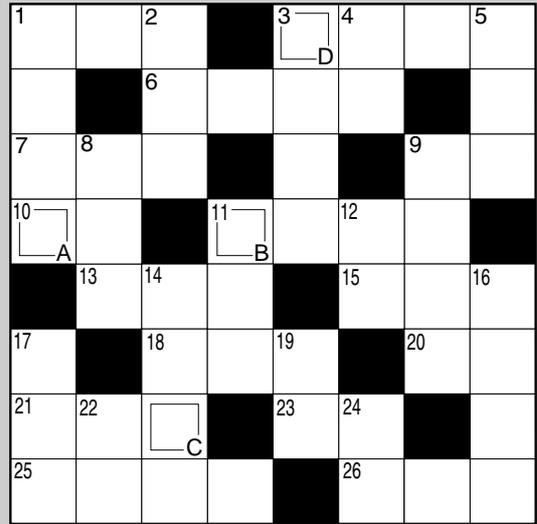
### 【タテのカギ】

- 1 お弁当を持って10km先の公園までテクテク…
- 2 「○○○嘗胆」
- 3 運動会の定番競技
- 4 ×2
- 5 天ぷらの皮
- 8 イギリスやアメリカなどの公用語
- 9 行事や催し
- 11 ボジョレー・ヌーボーもこの一種
- 12 犬猿の○○
- 14 秋だからかえてみようかしら…。ソバージュなんていいわね
- 16 鍵付の金属戸棚
- 17 芳香で癒す○○○セラピー
- 19 セッターが上げる
- 22 スニーカー、ハイヒール
- 24 春と秋の間

### 【ヨコのカギ】

- 1 秋の夜長はホームシアターでじっくりと
- 3 ピザにかける辛～いソース
- 6 水分を多く含むので炊くときは水を少なめに！
- 7 ⇄親密
- 9 ホクホクに蒸かして食べる人も
- 10 出る○○は打たれるとか
- 11 ○○○○にとじぶた
- 13 招くと解くのが大変
- 15 10月8日頃にあたる二十四節季のひとつ
- 18 西洋のはっか
- 20 凹凸の凸
- 21 RECボタンを押すと？
- 23 岩>石>○○
- 25 秋を代表する香り豊かな高級キノコ
- 26 旅行会社の団体旅行

## クロスワードパズル



- 正解者5名の方にすてきなプレゼントをさしあげます。なお、正解者多数の場合は抽選とさせていただきます。
- 【応募方法】左下の点線の部分を事務所内（販売機横）の投書箱へ。または、組織広報係までFAX（78-2556）お願いします。
- 【締め切り】平成18年8月15日まで  
当選者の発表は「けねべつ」9月号誌上

### クロスワードパズル 6月増刊号の答え

## ゼイキン

抽選の結果下記の方が当選いたしました。  
プレゼントを組織広報係でお受け取り下さい。

工藤 克子さん 影山 玉子さん 金野 風子さん  
太田 輝幸さん 加部 絢子さん

きりとり線

## クロスワードパズル

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

答え

A

B

C

D

--	--	--	--

ご意見をお寄せ下さい。(季節の便りなど何でもけっこうです)

きりとり線

## あとかぎ

一番草収穫もほぼ終了し、組合員の皆さんにはホッと一息という方も多いのではないだろうか。収穫前半は好天にも恵まれたことから、高品質なサイレージの出来上がりに期待したいところだ。

さて、「全国一斉休漁」として七月十五日、全国で二十万隻の漁船が操業を中止し、道内でも一万四千二百隻、約二万人が出漁を取りやめました。（道新より）現在、全国の酪農家戸数は二万七千七百九十戸、道内では七千二百八十五戸（二十年四月、中央酪農家意義調べ）であることから、休漁した数の多さがわかります。石油燃料や石油製品の値上げによる資材の高騰に苦心する同じ第一次産業の仲間として、見過ごすことのできない漁業者の訴えでした。



## “那須拓陽と矢板両校の酪農実習受入式”

栃木県的那須拓陽高校と矢板高校の生徒による酪農実習が7月16日から始まりました。期間は約2週間。今年の生徒数は両校合わせて24人です。

受け入れ式では富田参事が「皆さんは社会人になるために必要な人間力を高めようと実習を希望されたことと思います。この実習で協調性と計根別の生活習慣を学んで下さい」とあいさつ。また、生徒代表の清水緒美さんは「休日や放課後を利用して搾乳作業の練習をしてきました。現場でどこまで出来るのかとても心配ですが、一生懸命がんばります」と受け入れ農家の方々にあいさつしました。

この実習は、昭和38年に矢板高校生を受け入れたことがはじまり。今年で45年目を迎えた歴史あるものです。

